

環境NPO 支援事業

環境市民団体が新しい社会の担い手として活躍できるよう、市民が主体的に行っている地域の環境活動をさまざまな角度から支援しています。2010年度は、資金面を支援する公募助成や、地域の環境NPOを支援する中間支援組織への支援、環境ボランティアリーダーのスキルアップを目的とした海外研修などを行いました。

● 公募助成

セブン-イレブン記念財団は、日本全国のセブン-イレブン店頭で募金箱に寄せられた市民（＝お客様）の募金を、地域の環境市民団体に助成金という形でお届けし、地域の環境活動を支援しています。

2010年度の公募助成は、団体の活動目的や内容に合わせてご利用いただけるよう、環境市民活動助成に3種類、地域美化活動助成に2種類の5種類を設けました。ご応募いただいた298件、総額3億1180万9124円の中から厳正な審査の結果、210件、1億2949万643円の助成が決定しました。現物支給の軍手代114万4353円を含めた助成総額は1億3063万4996円

です。

2008年度、2009年度から継続して支援している助成先14件、1237万5493円と合わせた助成件数は224件、助成総額は1億4301万489円でした。



水辺と生き物を守る農家と市民の会（福井）

2010年度（平成22年度）の公募助成

種 類		助成の主旨と特徴	件数	金 額
環境市民活動助成	活動助成	市民（＝お客様）から寄せられた募金を自然環境の保護など、市民が主体となって行っている環境活動に広く社会還元することを目的にした助成です。活動資金を1年間助成します。	116件	89,585,309円
	広域連携促進助成	都道府県を越えた各地のネットワーク・連携を通じ、全国的に展開される環境市民活動の効果を高めるための事業を支援します。活動資金を原則2年間継続して助成します。	該当なし	該当なし
	自立事業助成	助成期間内に事務所費・人件費などの財政基盤を安定的に確保できる事業を構築し、自立した活動ができる環境NPOを目指す団体を支援します。事業資金・人件費を原則3年間継続して助成します。	2件	7,068,800円
地域美化活動助成	地域清掃活動助成	清掃用具（ごみ袋・鎌・鍬・トンゴなど）の購入費用、ごみ処分代や、一般参加者募集チラシやポスターの作成費用、ボランティア保険代の助成に加えて、軍手の現物支給を行います。	37件	5,007,601円 (この他、軍手支給額1,144,353円)
	緑化植花活動助成	苗木や花の種・苗・球根、有機肥料の購入費用や一般参加者募集チラシやポスターの作成費用、ボランティア保険代を助成します。	55件	27,828,933円
合 計			210件	129,490,643円

環境市民活動助成の 対象活動分野

1. 自然環境の保護・保全
2. 野生動植物種の保護・保全
3. 体験型環境学習活動
4. 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動



NPO法人 森林の風（三重）



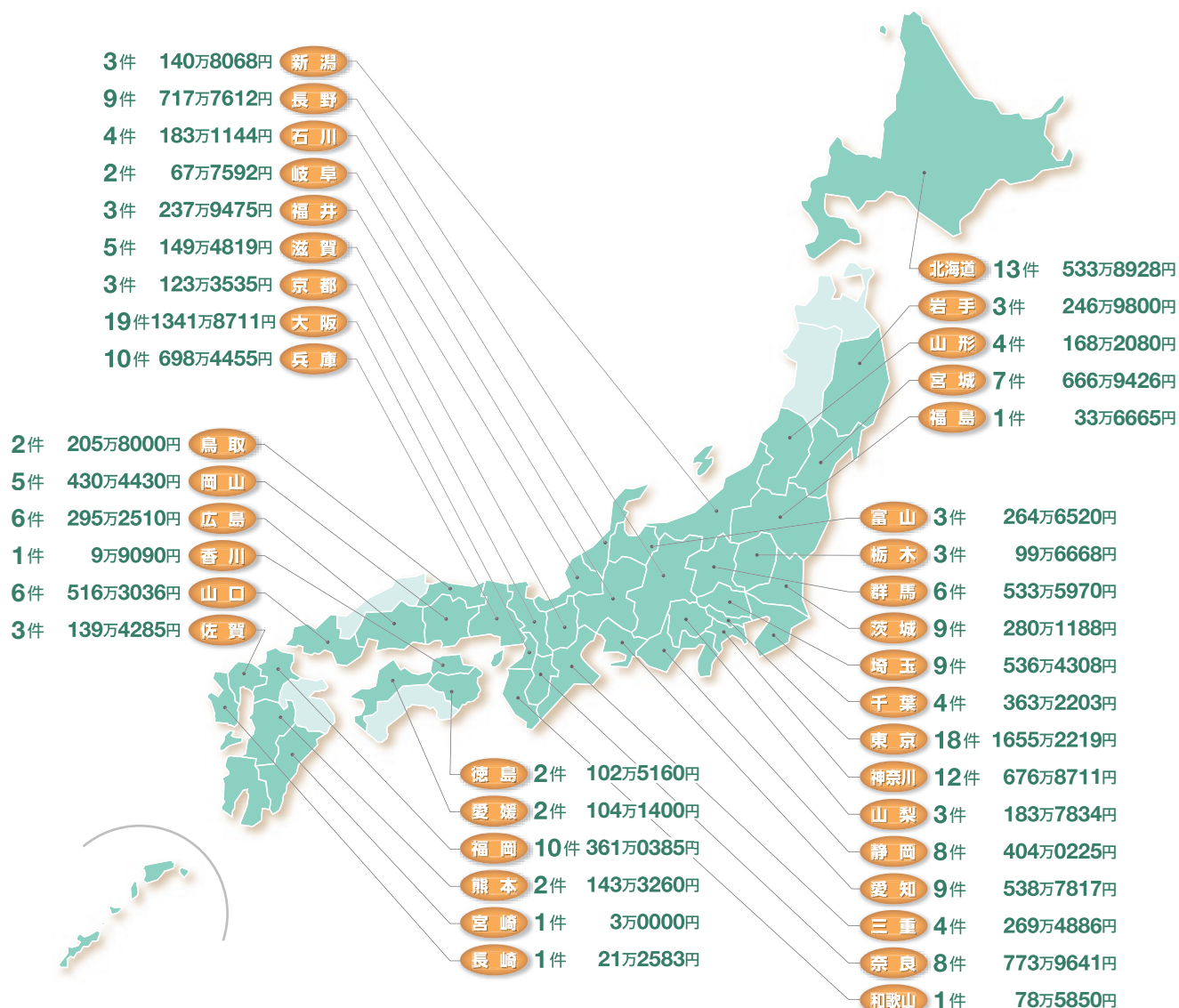
NPO法人 印旛野菜いかだの会（千葉）

2010年度（平成22年度）都道府県別の助成先件数・助成金額

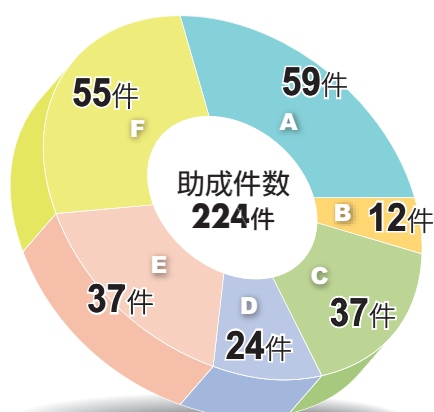
※2008年度、2009年度、2010年度の継続助成先を含む

助成先総数 **224件** 助成総額 **1億4301万489円**

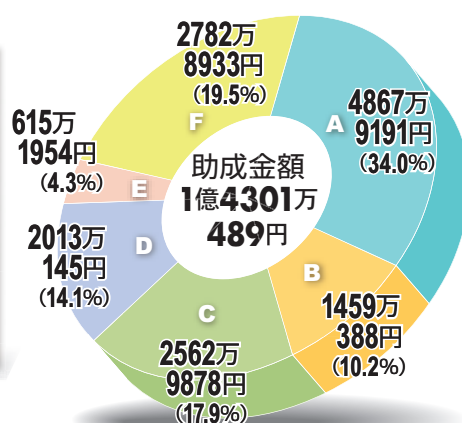
※2010年（平成22年）4月末日の助成総額（現物支給含む）です。



「活動分野別 助成件数」と「活動分野別 助成金額」



- A 自然環境の保護・保全
- B 野生動植物種の保護・保全
- C 体験型環境学習活動
- D 環境への負荷を軽減する生活をテーマにした活動
- E 地域清掃活動
- F 緑化植花活動



● 地域活動支援

地域の環境市民団体の「人・もの・資金・情報・ノウハウ・マネジメント・専門性」を相互に交流させ、それぞれの活動基盤を強化するために、日本全国の4ブロックで中間支援組織の構築とその活動を支援しています。2010年度は、全国9カ所で「助成金セミナー」を、各地域で環境団体の交流を目的とした情報交流会を開催しました。



東京・四ツ谷のセブン&アイHLDGS.ビルで開催した「助成金セミナー」

● 環境ボランティアリーダー支援

環境先進国ドイツで活動する環境保護団体を訪れ、組織運営や活動技術を学び、研修で得た情報や経験、ノウハウを日本各地の活動現場で活かしていただくことを目的に、「環境ボランティアリーダー海外研修」を実施しています。2010年度は68人の応募者の中から5人の研修生をドイツへ派遣しました。

2011年1月29日、30日には、これまでに派遣した研修生で結成した「全国環境ボランティアリーダー会」の「第5回環境ボランティアリーダー会議」を東京で開催し、総会と情報交流、海外研修の報告会などについて話し合いが行われました。



環境先進国といわれるドイツでの研修

● 東京の緑を守ろうプロジェクト

セブン・イレブン記念財団は、東京都と2010年2月～2015年3月の5年間「東京の緑を守ろうプロジェクト」に関する協定を結び、都内に残る樹林地の緑を保全する市民活動の支援を連携・協力して行っています。

8月21日に都庁都議会議事堂1階都民ホールにて、シンポジウム「東京の緑の今、そしてこれから」を東京都と東京の緑を守る将来会議、当財団との3者共同で開催し、猛暑の中168名に参加いただきました。



東京の緑の今、そしてこれから

● 環境学習活動支援

“環境”をテーマにした社会貢献活動を体験していただくために、セブン・イレブン加盟店と(株)セブン・イレブン・ジャパン社員などを対象に「セブン・イレブン記念財団 環境学習教室」を主催しています。7月10日の富士山清掃には38名が参加し、総重量1,510kgもの大量の廃棄物を回収しました。



富士山の清掃活動